

# 土地改良事業変更計画概要書

## 第1章 目的

本地区は、大型機械化実験集落整備事業などで(昭和29～昭和37年)面整備が行われているが、区画は狭小で農道も狭く農業機械の大型化が困難であるとともに、用排水路の分離も十分でない地域もあることから、営農効率は良くない。そのような地域で、農業従事者の高齢化・後継者不足に対応し地区内に農業生産法人も3法人設立され営農を展開している。このうち2法人は、既存経営農地に加えて地区内の農地を集積し、収益性の高い農業経営に取り組むこととしているため、農業競争力のある高生産性の農業を展開することを目的としてこの事業を実施する。

なお、今回の計画変更は、一部地域の編入及び除外があったため行うものである。

## 第2章 地域の所在及び現況

### 1. 地域の所在及び地積

[単位:ha]

所在	世羅郡世羅町大字賀茂、京丸、堀越、三郎丸 の一部							
地積	田	畑	山林	原野	その他	5条7項	5条6項	計
	45.0	0.3	0.0	0.2	0.1	0.0	3.5	49.1

### 2. 地域の現況

#### (1) 地形

本地区は、世羅郡世羅町中央の標高340～370mに位置し、一級河川芦田川沿いに展開する水田農業地帯である。

#### (2) 土質及び土壌

地質は、主にグライ土壌 粘土型・グライ土壌 壤土型・灰褐色土壌 粘土層構造マンガン型である。

#### (3) 気象

世羅郡世羅町の気候は、年平均気温13度、年間降水量1,300mmで、広島市より平均気温で3～4度低く、年間降水量で200mm程度少ない。

#### (4) 水利状況

用水は、周辺の溪流やため池、芦田川や京丸川から取水しており、排水は河川への自然排水である。既設水路は、用排兼用が多く老朽化し、一部は破損している。

## (5) 営農状況 ( )は変更前

区分	農家 戸数 (戸)	農家 人口 (人)	内訳		一戸当たり		備考
			専業 (戸)	兼業 (戸)	田 (ha)	畑 (ha)	
世羅町	1,115	1,906	346	769	1.8	0.2	
受益地	(38) 41	(53) 58		(35) 38		1.1 0.0	

## (6) 地域環境の概況

世羅町には、山林や農地、河川、ため池、湿地等、様々な自然環境があり、多様な動植物の生息・生育の場所となっている。また、貴重な動植物の生息が数多く確認されており、特に男鹿山のスズランの保護に向けた生息環境の維持・保全が重要になっている。

本地区は、山間地域内に位置している。芦田川を中心に平地が広がるほか、谷あいにおいて水田や畑地などの営農が行われている。地区周辺は過去に整備された痕跡が見られ、比較的なだらかな地形の場所が多い。

## 第3章 基本計画

## 1. 工事計画の内容 ( )は変更前

地区名	工 種	数量及び規模	備考
西大田	整 地 工	(42.0) 41.2 ha	
	道 路 工	L=5.5 km      W=3.0~5.0m	
	用水路工	L=5.1 km      VU200~450	
	排水路工	L=4.3 km      KF200~500、DF1400*800~1500*1000	
	用排水路工	L=0.6 km      KF250~450	
	暗渠排水工	(A=42.0) A=41.2 ha      合成樹脂管 φ 50~100mm、塩ビ管 φ 100mm	

## 2. 環境配慮にかかる計画

整備中は汚濁水など既存水路からの流出を抑制するほか、施工に影響する種については、移植など検討を行うこととしている。  
また、施工中保護すべき動植物が確認され、影響が懸念される場合、その都度検討を行い、対応するものとしている。

## 第4章 工事又は管理の要領

事業により創設される道路・水路は、世羅町西大田土地改良区 が定款・規約等を定めて良好な維持管理を行う。

第5章 換地計画の要領

1. 換地計画樹立の必要性

事業により、基盤の整備を行いもって農用地の集団化を図るため、換地計画により公平適切な換地の配分、利害関係者の権利の帰属、公定のため換地計画を樹立する必要がある。

2. 換地計画樹立の基本方針

(1) 従前の地積の基準

換地交付の基準とする従前の土地の地積は、登記簿地積とする。

(2) 農用地集団化の方法

区分 工区名	地帯別、グループ 別団地の指定	個人別換地の方法		
		位置の選択	一戸当たり 目標団地数	区画畦畔 の取扱い
賀茂東 堀越 (各工区共通)	該当なし	母地集団化方式	概ね 2 団地	固定畦畔 原則として標準区画を 単位に交付する。  移動畦畔 配分面積に応じて移 動して定める。

(3) 非農用地換地の方法

( )は変更前

区分 工区名	種 類	非農用地区域 の位置の概略	面積 m <sup>2</sup>	換地の手法	その他
賀茂東	(-) 宅地	(-) 概ね従前の位置	(-) 98.32	(-) 特定用途用地	
堀越	( - ) 雑種地等	( - ) 概ね従前の位置	( - ) 50	( - ) 特定用途用地	
		( - ) 概ね従前の位置	( - ) 6	( - ) 異種目換地	
計			( - ) 154.32		

(4) 清算の方法

比例地積清算方式

3. 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係わる地積

( )は変更前

[単位: m<sup>2</sup>]

換地区 工区名	区分	公用公共用地					
		国有地	県有地	町有地	計	その他	合計
賀茂東	道路			(12,008.72) 11,660.12	(12,008.72) 11,660.12		(12,008.72) 11,660.12
	水路			(5,700.82) 5,653.22	(5,700.82) 5,653.22		(5,700.82) 5,653.22
堀越	道路	421.00		11,532.75	11,953.75		11,953.75
	水路	601.90		4,599.80	5,201.70		5,201.70
合計		1,022.90		(33,842.09) 33,445.89	(34,864.99) 34,468.79		(34,864.99) 34,468.79

## 第6章 費用の概算

¥1,319,850,000 -(うち地方事務費 ¥62,850,000 -を含む。)

## 第7章 効用

[単位:千円]

区分 効果項目	年総効果額	年増加所得額	備考
作物生産 効果	18,926	34,101	
営農経費節減 効果	60,327	60,327	
維持管理節減 効果	△ 538	△ 538	
その他 効果	2,773		(国産農産物安定供給効果)
計	81,488	93,890	

## 第8章 他の事業との関係

該当なし

## 第9章 計画概要図

別紙のとおり